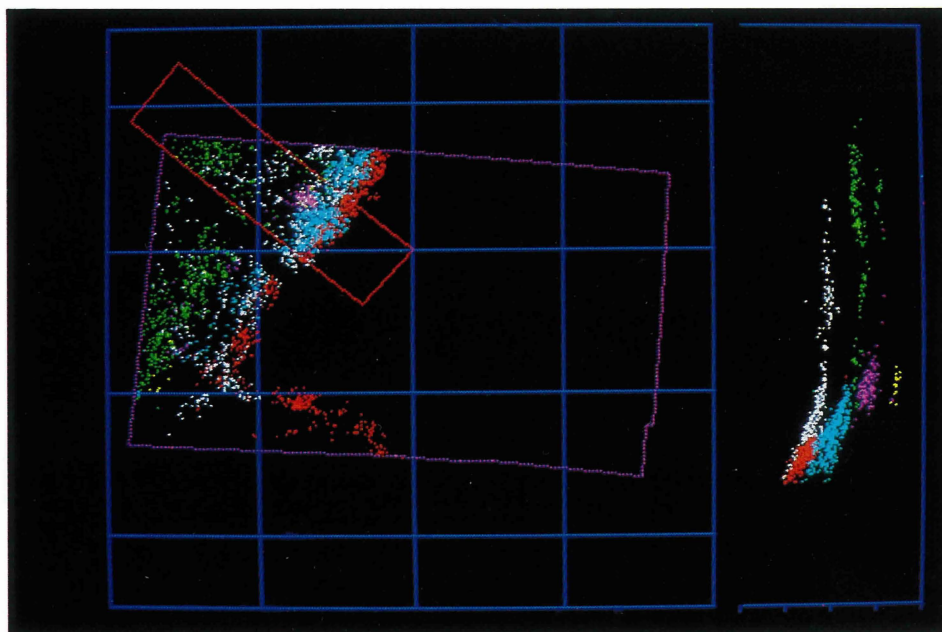


# 京都大学構内遺跡調査研究年報

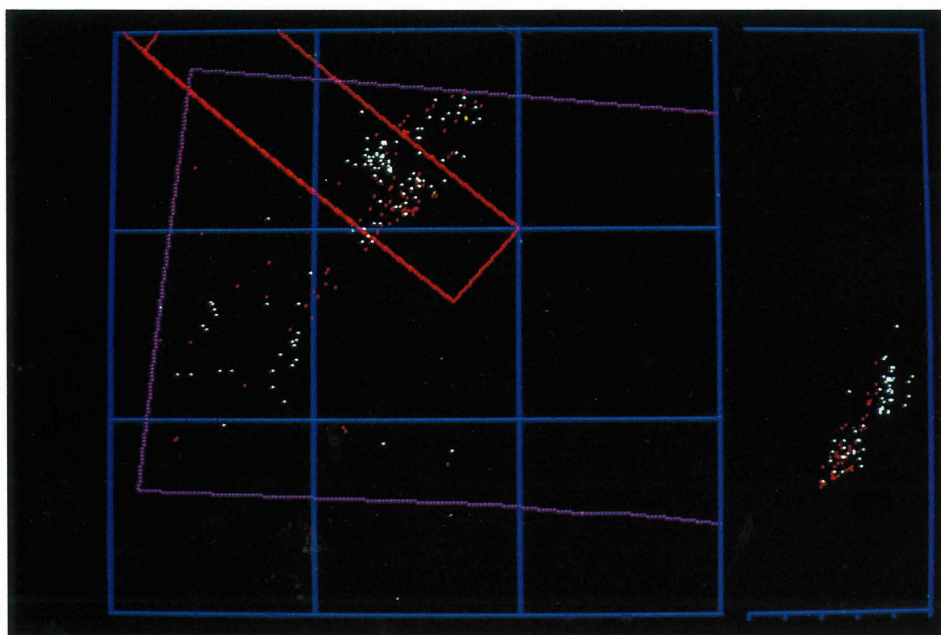
昭和59年度

京都大学埋蔵文化財研究センター

巻首図版 北白川追分町遺跡



1 縄文晩期出土遺物の層位別分布 暗褐色土(白), 黒色土1(赤)  
黒色土2(青), 黒色土3(緑), 黒色土4(紫), 黒色土5(黄)



2 縄文晩期土器の分布  
滋賀里Ⅲb・Ⅳ式(白), 船橋式・長原式(赤)

## 序

昭和52年に、埋蔵文化財研究センターが設立されてから、すでに10年の歳月がすぎた。その間、調査の体制もしだいに整備され、吉田キャンパスを中心に和歌山県の瀬戸、京都府の美月、中海道、本山などひろく各地に点在する敷地内の埋蔵文化財について、調査と研究をすすめ、保存と活用の方策をもとめてきた。この調査を通じて、学内の各学部、研究所、研究施設などの研究室をはじめ、学外の研究機関の積極的協力をえて、学際的研究をすすめ、埋蔵文化財研究センターはその核の役割りをはたし、大きい成果をあげることができた。この年報にも、その成果の一端が反映されている。

もっとも、次々と学内で計画される新営工事にともなう事前調査を主な調査とし、不安定な組織のもとですすめなくてはならないという現状にあって、研究センターの構成員を中心に協力し懸命な努力をつづけ、すぐれた成果をあげてきたことに注目したい。この方面の研究活動のいっそうの向上をはかるためにも、研究組織の充実がつよく要請されている。

この年報は第Ⅰ部の昭和59年度における構内遺跡の調査報告と第Ⅱ部のそれら遺跡や遺物に関連する研究成果をまとめた研究紀要とからなる。とくに第Ⅰ部第2章北白川追分町遺跡の調査報告では、大型植物遺体について大阪市立大学大学院の南木睦彦氏、木材について京都大学木材研究所の島地謙教授、昆虫遺体について大阪市立自然史博物館の宮武頼夫氏にそれぞれ執筆をわずらわしたことを附記したい。

今回も学内、学外の多くの方々から御指導、御助言をいただき、調査の全般にわたって、施設部、医学部附属病院、理学部の関係各位の御協力をいただいた。ここに厚くお礼申しあげるとともに、今後とも学内・学外の方々の御指導と御協力をおねがいする所である。

昭和61年12月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

西川幸治

## 例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で昭和59年4月から同60年3月末日までに発掘、整理作業を終了した埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学埋蔵文化財研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 層位と遺構の位置については、国土座標第6座標系 ( $x=-108,000$   $y=-20,000$ ) が ( $X=2,000$   $Y=2,000$ )となる京都大学構内座標によって表示した。
- 3 国土座標にしたがって一辺50 mの方形の地区割をして、遺跡の位置を表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良国立文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE、土坑：SKのように表示し、各調査ごとに番号を付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通して表示を統一した。  
I：北白川追分町遺跡の発掘調査  
II：京都大学病院構内AF19区の発掘調査  
(例 I1：北白川追分町遺跡出土遺物1番)
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺 1/4、遺物の写真は約 1/2に統一した。他の縮尺のものは、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 注は、各章ごとにまとめて章末に記載した。また、第I部の参考文献は、本文中に、[著者名 発表年]の形式で表わし、第I部の末に一括した。第II部については、各章末の注に一括して記載した。
- 8 遺構・遺物の実測と製図は、清水芳裕、五十川伸矢、浜崎一志、宮本一夫、三宅由美、森本晋、古賀秀策、宮川禎一、千葉豊、川島はる代、寺島千春、大本真理がおこなった。遺物の撮影は、清水芳裕が担当した。
- 9 本文は、上田正昭、池田次郎、清水芳裕、五十川伸矢、浜崎一志、宮本一夫、森本晋が各章を分担執筆した。執筆者名は、各章の初めに記した。
- 10 編集は西川幸治の指導のもとに清水芳裕が担当し、五十川伸矢、浜崎一志、宮本一夫、難波洋三、盛恵子が協力した。
- 11 自然遺物の分析については、理学部地質鉱物学教室 石田志朗・竹村恵二、木材研究所 島地謙・林昭三・伊東隆夫、大阪市立大学理学部 粉川昭平・南木睦彦、大阪市立自然史博物館 宮武頼夫の諸氏の御協力を頂いた。

目 次

第 I 部 昭和59年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 昭和59年度京都大学構内遺跡調査の概要 .....	1
1 調査の大要 .....	1
2 調査の成果 .....	1
3 病院構内A J19区の発掘調査 .....	3
4 構内遺跡とキャンパス計画 .....	6
第 2 章 北白川追分町遺跡の発掘調査 .....	9
1 調査の経過 .....	9
2 縄文時代の遺跡と遺物 .....	11
3 古代・中世の遺跡と遺物 .....	22
4 大型植物遺体 .....	26
5 木 材 .....	32
6 昆虫遺体 .....	39
7 縄文時代の環境と人間の生活 .....	41
第 3 章 京都大学病院構内A F19区の発掘調査 .....	43
1 調査の経過 .....	43
2 層 位 .....	43
3 遺 構 .....	44
4 遺 物 .....	46
5 大田垣蓮月と聖護院村 .....	52
6 小 結 .....	55
参 考 文 献 .....	56
京都大学構内遺跡調査要項 .....	58

## 第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 V

### 近畿・中国地方における縄文前期初頭の土器細分

1	はじめに	67
2	近畿の様相	68
3	瀬戸内の様相	71
4	山陰の様相	76
5	縄文前期初頭の西日本	82
6	小 結	85
図	版	巻末

## 図版目次

### 巻首図版 北白川追分町遺跡

- 1 縄文晩期出土遺物の層位別分布 暗褐色土, 黒色土 1 ~ 黒色土 5
- 2 縄文晩期土器の分布 滋賀里Ⅲb・Ⅳ式, 船橋式, 長原式
- 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
- 2 北白川追分町遺跡
  - 1 縄文晩期の層位と黒色土 5 出土の木材 (北から)
  - 2 土坑SK3 出土土器 (西から)
  - 3 黒色土 3 上面検出の足跡 (南から)
- 3 北白川追分町遺跡  
縄文前期・中期の土器
- 4 北白川追分町遺跡
  - 1 縄文晩期滋賀里Ⅳ式土器
  - 2 縄文土器(滋賀里Ⅲb・Ⅳ式, 船橋式, 長原式)
- 5 北白川追分町遺跡  
大型植物遺体 (1)
- 6 北白川追分町遺跡  
大型植物遺体 (2)
- 7 北白川追分町遺跡  
大型植物遺体 (3)
- 8 北白川追分町遺跡  
木 材 (1)
- 9 北白川追分町遺跡  
木 材 (2)
- 10 北白川追分町遺跡  
木 材 (3)
- 11 北白川追分町遺跡  
木 材 (4)

- 12 北白川追分町遺跡  
昆虫遺体(1)
- 13 北白川追分町遺跡  
昆虫遺体(2)
- 14 京都大学病院構内 A F 19区  
1 近世の遺構(北から)                      2 高野川系旧流路(北から)
- 15 京都大学病院構内 A F 19区  
1 野壺 S E 7(北から)                      2 井戸 S E 2(北から)  
3 池 S G 1(北から)                      4 池 S G 1掘り上げ(北から)
- 16 京都大学病院構内 A F 19区  
1 縄文後期の土器                      2 S K 9・S K 6出土遺物
- 17 京都大学病院構内 A F 19区  
S X 1出土遺物
- 18 京都大学病院構内 A F 19区  
蓮月焼

## 挿 図 目 次

昭和59年度構内遺跡調査の概要	図11 石鏃・石皿……………19
図1 TR7東壁とTR3南壁の層位… 3	図12 石錘・磨製石斧・石棒・敲石…20
図2 検出遺構…………… 4	図13 縄文土器・大型植物遺体の 分布……………21
図3 S K 16・S K 22・ S K 20出土遺物…………… 5	図14 古代・中世の層位……………22
北白川追分町遺跡の発掘調査	図15 古代・中世の遺構……………23
図4 調査区の地区割……………10	図16 碧玉製管玉……………24
図5 縄文時代の層位…………… 10・11	図17 S D 3・S K 1・赤褐色土下層・ 赤褐色土上層出土遺物……………25
図6 縄文前期・中期の土器……………13	図18 試料採取地点の柱状図……………26
図7 縄文中期の土器……………14	図19 大型植物遺体産出量の 層的变化……………31
図8 S K 3出土の縄文土器……………15	図20 黒色土5層の木材出土状況……………33
図9 縄文晩期の土器(1)……………16	
図10 縄文晩期の土器(2)……………17	



病院構内A F 19区の発掘調査

図21 調査区中央畔北壁の層位……………44  
 図22 検出遺構……………45  
 図23 縄文土器……………47  
 図24 S K 9・S K 6 出土遺物……………48  
 図25 S X 1 出土遺物(1)……………50  
 図26 S X 1 出土遺物(2)……………51  
 図27 蓮 月 焼……………53  
 図28 聖護院村略図……………54

近畿・中国地方における

縄文前期初頭の土器細分

図29 一乗寺南地点出土縄文土器……………69  
 図30 羽島貝塚出土縄文土器……………72  
 図31 帝釈峽遺跡群出土縄文土器……………75  
 図32 目久美遺跡出土縄文土器……………77  
 図33 陰田遺跡出土縄文土器……………79  
 図34 類別による遺跡分布図……………83  
 図35 縄文前期初頭  
 土器変遷想定図……………86・87

表 目 次

表 1 大型植物遺体の産出個数… 28・29  
 表 2 前回の調査で産出した  
 大型植物遺体との比較……………30  
 表 3 木材の出土地区・層位 ……34・35  
 表 4 木材の樹種と出土件数……………36  
 表 5 前回の調査で出土した  
 木材との比較……………38

表 6 昆虫遺体の出土個数……………40  
 表 7 京都大学構内のおもな調査……………62  
 表 8 山陰における縄文前期初頭の  
 遺跡別土器様相……………80  
 表 9 縄文前期初頭土器編年表……………84

# 第 I 部 昭和59年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 昭和59年度京都大学構内遺跡調査の概要

第 2 章 北白川追分町遺跡の発掘調査

第 3 章 京都大学病院構内 A F 19 区の発掘調査

## 第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 V

近畿・中国地方における縄文前期初頭の土器細分

昭和62年 2月20日発行

# 京都大学構内遺跡調査研究年報

昭和59年度

編 集 京都大学埋蔵文化財研究センター  
発 行 京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町  
印 刷 山 代 印 刷 株 式 会 社  
製 本 京 都 市 上 京 区 寺 之 内 通 小 川 西 入